▲全身を使ってヘリコプターを表現（6月29日／西脇小学校）

好きです!! にしわき わたしのふるさと

今、この時を輝いて生きる

―次世代につなぐ、心豊かな人づくり、まちづくり―

教育委員会や学校園の情報をお知らせします。

「表現のプロの技を学ぼう」

―劇団員による「表現力ワークショップ」―

西脇市では小学5年生を対象に、舞台で活躍する「表現のプロ」から表現力やコミュニケーション能力を学ぶ授業を実施しています。

さまざまな表現にチャレンジ

子どもたちは声で感情を表す発声練習や、しぐさで物事を表すパントマイムなどの表現技法の指導を受け、チームでさまざまな表現を行います。講師はピッコロシアター（県立尼崎青少年創造劇場）の劇団員の皆さんです。

授業を通して表現力が豊かに

授業では子どもたちの「コミュニケーション能力」や、「表現力」を養います。体を使ってどのように表現するのか、みんなで意見を出し合って決めることで、友達と協力することの大切さを学びます。そして全身を使って表現することで、授業や普段の生活で必要な表現力を鍛えます。

ヘリコプターになろう

【題：6人でヘリコプター】

即興で6人組をつくり、役割を分担して一つのヘリコプターを表現しました。機体や翼、パイロットなどの役割を誰が演じるか話し合い、チームごとに特徴のある作品を表現しました。

授業を受けた児童の感想

・講師の方の「こんにちは」や「さようなら」には、とても気持ちがこもっていてすごいと思いました。

・気持ちの違いで声の雰囲気や表情が変わるのがすごかったです。

・みんなで協力できてとても楽しい授業でした。プロの方に教えていただき、表現力が上達しました。

・感情の込め方が難しくて少し苦戦したけど、授業を通して上達できてうれしかったです。

▼**問合せ**　学校教育課（市役所内線520）

心のスケッチ 114　人権教育課コラム

自然を愛し豊かな心を育てる活動

6月初旬、青空の下で心地よい風を感じながら田植え体験を行いました。参加者は市内の園児や小中学生とその保護者、そして障害のある方や、外国籍の方など総勢100名です。グループごとに地域の皆さんから苗の持ち方や植え方を教えていただき、「大きくなあれ」と願いを込めて大切に苗を植えました。

これは「にしわきジュニアじんけん教室」の活動のひとコマです。体験活動を通じて子どもたちに、協力することの大切さや他者と触れ合う喜び、ふるさとへの愛着を感じてもらうことが目的です。市内の小中学生を対象に、年間を通して各所でさまざまな体験活動を行っており、昨年度は22回実施。合計で約1，200人が参加し、活動は笑顔あふれる充実したものでした。

中でも農業体験は、地域の皆さんが抱く子どもたちへの愛情や、地域への思いで満ち溢れていました。なぜなら地域の皆さんは、見えないところでさまざまな配慮をしてくださっているからです。例えば子どもたちがけがなく作業ができるための準備や、植えた苗が病気になったり虫に食べられたり、枯れてしまわないための日々の管理などです。

農業体験を終えた子どもたちは「お米は植えただけではできません。肥料を与えたり、雑草を抜いたりしないといけないので、農家の人は大変です。お米を大切に食べたいです」と感想を残しています。

子どもたちが体験する農作業はごく一部ですが、地域の皆さんの思いは子どもたちの心にしっかりと届きました。

子どもたちは活動を通じて命の大切さや感謝の気持ち、助け合う心を感じます。子どもたちが大人になったとき、きっと西脇市の自然や地域の皆さん、そして皆さんの笑顔を思い出してくれるでしょう。

教室では来年の2月まで自然体験や異文化交流、美化活動などを計画しています。ぜひ一緒に心の温度が上がる活動をしませんか。

「自然を愛し豊かな心を育てましょう」（西脇市民憲章から）

（人権教育課）

西脇市消費生活センター

No.156　☎22-3111（防災安全課内）

「簡単」や「必ずもうかる」にご注意ください

■事例

インターネットで、「誰でも簡単」「毎月100万円の収入」という広告を見つけてサイトに登録した。その後サイトから本登録を促すメールが次々と届き、「専門家による完全サポート」や「100％返金保証」などの言葉を信じ、申込金70万円をクレジットカードで支払った。後日、申込完了と本登録に関する通知がメールで届いたが内容が難しく、問合せをしても連絡が取れない。契約書をもらっておらずどうしたらよいか。

＊　＊　＊

■アドバイス

インターネットを活用したさまざまなもうけ話（副業、投資、内職など）は、購入するまで詳しい内容が分かりません。また、購入しても「簡単ではなかった」や「サポートが受けられない」、「さらにお金が必要」などのトラブルが発生しています。一般的に、「誰でも簡単に高額な収入が得られる」ということはあり得ません。少しでも仕組みが理解できなければ、ご家族などに相談するなどして安易に契約しないようにしましょう。

おもてなしコラム 29

市内産のイチゴを使った「いちごアイスバーガー」

西脇市では、「日本のへそ西脇地域食材でおもてなし条例」を施行。豊饒（ほうじょう）の地で生産された地域食材や地場産業などの魅力に認識を深め、郷土に誇りと愛着を持って来訪者をもてなすことで、本市のさらなるにぎわいの創出を目指しています。

■問合せ　農林振興課（市役所内線322）

地域食材を使った「うまいもん」でおもてなし

西脇市では7月22日に地域食材を使ったグルメイベント「にしわき・たか　うまいもん市」が開催されました。

催しは「東京2020オリンピック・パラリンピック」の事前合宿地である西脇市で、食を通してオーストラリア卓球チームを応援し、地域の活性化につなげたいという思いで西脇多可料飲組合青年部が中心となって企画されました。

当日は黒田庄和牛を使ったローストビーフやコロッケ、牛すじカレーのほか、イチゴを使ったかき氷や「いちごアイスバーガー」など地域食材でお客さまをもてなしました。

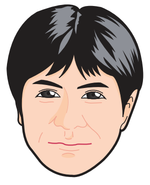
西脇市では黒田庄和牛や山田錦、金ゴマ、黒大豆など全国に誇る農畜産物を生産しています。今後も市内の飲食店と連携して地域食材の魅力を広く発信し、さらににぎわいのある町を目指します。

11月には「にしわき産業フェスタ・西脇市農業祭」を開催します。市内農産物の販売だけでなく、グルメコーナーも充実しています。ぜひお越しください。

市長からの手紙 56

―西脇を元気に!!―

西脇市長　片山象三



大学生提案の「播州織浴衣づくり体験ツアー」を初開催

先月7日から9日まで、西脇商工会議所が「播州織浴衣づくり体験ツアー」を実施されました。2泊3日の滞在中に、播州織浴衣を制作しながら市内を観光するもので、参加した関西学院大学と神戸芸術工科大学の学生10名は、講師の指導を受けながら、型取りから縫製まで一連の作業を体験。好みの播州織生地で、オリジナルの浴衣を完成させました。最終日には自作の浴衣を身にまとい、旧来住家住宅周辺を散策して記念撮影をするなど、ツアーは大好評でした。

参加した大学生は自作の浴衣を着て旧来住家住宅で記念撮影（8月9日）

この事業は本市と連携協定を結ぶ関西学院大学で、都市財政論を学ぶ学生らが、播州織の良さと西脇市をPRしようと、調査研究を行い、市に提案してくれたものです。今後の事業化を目指し、モニターツアーとして実施されました。これからも高校や大学との連携を強化し、将来の地域社会を担う若者たちのさまざまな提案やアイデアを積極的に市政に取り入れていきます。

市内8地区で開催してきたまちかどミーティングは、日野地区を除く7地区で終了しました。新しい庁舎や防災対策などでたくさんの貴重なご意見をいただくことができました。引き続きご意見をお寄せください。

このまちに住んでいることを誇れる「西脇市」をともに創っていきましょう。